

## 2018年11月11日 主日礼拝（洗礼式・聖餐式）

プレイズ

奏 楽

祈 禱

使徒信条

賛 美 讃美歌312番「いつくしみ深き」

(God is working for my good) (イエスあなたの名は)

聖 書 ①ルカによる福音書 23章39～43節 (p.132)

②哀歌 3章22～23節 (p.1145)

音 楽 モーセ会

証 詞 ①戸田喜耶姉(学生会)

メッセージ ①「あの美しいお膝元のお庭で」 坪井永城副牧師

②「主の慈しみは、決して絶えない」 大川従道牧師

賛 美 「聖霊様あなたを求めます」(献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

聖餐式

「主の慈しみは決して絶えない。主の憐れみは決して尽きない。  
それは朝ごとに新たになる。『あなたの真実はそれほど深い。』」

(哀歌三の二十二～二十三・新共同訳)

### 【町田ニュース】

- ・ 先週の「オープン礼拝」が祝されました(大人16人、小人2人)。
- ・ 先月の国際飢餓対策は、4,073円でした。感謝します。
- ・ 本日午後、[クリスマスコンサートのチラシ配り](#)。協力できる方はご一緒に。
- ・ 東京カルバリーチャペルは午後5時。説教は大川師。特別賛美は衛藤姉。
- ・ 朝6時から「[早天祈祷会](#)」が祝されています(今週は月～土)。
- ・ 火曜日10時「[ほっとママの会](#)」(牧師館にて)。講師は坂本眞貴子師。
- ・ 今週も祈祷会を大切に(Y)。水曜夜は[土屋勇人先生\(札幌ホーリネス教会\)](#)。木曜朝は丸藤伝道師。金曜夜は大野M伝道師。
- ・ 祝、ご誕生。高瀬涼子姉(13日)、大塚信頼師(17日)
- ・ 今週も宿題に従って、[聖書通読・Q.T.](#)しましょう。



## 畑の中の宝物

先週、頬にできた腫瘍しゅように膿うみがたまり大きくなって痛み出しました(うみの苦しみ)。何のために腫瘍ができてしまったのか…。腫瘍だから、「主よ(腫瘍)～」と motto 祈れということなのだろう、と私的靈的解釈をしたり、腫瘍を感謝したか？と主に問われた気がして、「腫瘍ができたことを感謝します」と感謝し始めました。

そんな証しを火曜日、大和の早天祈禱会でさせていただくと、ネットを通して早天祈禱会を守っていた一人の姉妹から、内臓の腫瘍が発見されて不安の中にいましたが、主は祈りに導いておられると感謝し、平安を頂いて病院へ行くと、内視鏡検査をしても腫瘍や腹水が見当たりませんでした。診察室を出てから涙がこぼれそうでしたとの感謝の証が届きました。主に栄光をお返します！

息子が風邪をひき、病院で白い粉薬を処方されました。家で飲ませようとすると、飲めないとぐずりました。「水を入れて」というのでコップに水を入れてあげると「もっと入れてよ～」と泣くのもっと水を入れると、今度は「粉が下にたまるんだよ～」。スプーンでもう一度かきまぜて出すと、「ぼく、薬飲むと泣いちゃうんだよ～」と言います。「泣いてもいいから治るために飲むんだよ」というと、しばらくして泣きつつも全部飲んでいました。恐れを克服して飲んだのです。

そんな息子も、読売ランドで娘がお化け屋敷に入った時は直前で辞退しました。私は付き添いで入りましたが全く怖くなく拍子抜けしました。お化けは実在しないことを知ってるからでしょう。息子曰く「ぼく、5歳の時より怖くなっちゃった」。

心理学者によると、私たちが抱く恐れの大半は後天的なものだそうです。生まれた時点で私たちが恐れを感じるものは二つだけ。「大きな音」と「落ちること」です。それ以外の恐れは、私たちが成長しながら認識するものです。その過程で、本来は恐れる必要のないものまで対象にしてしまうことがあるのです。

健全な恐れと実体のないものへの恐れがあります。区別する知恵を主にいただいて、恐れを克服させていただきましょう。

大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ヘブル8章～12章 Bコース:哀歌3章～エゼキエル16章